

## CISPR H 小委員会 JWG6(9k~150kHz のエミッション) 国際会議結果

### ◆2020 年第 11 回作業班会議以降における JWG6 の活動状況

2020 年 3 月の JWG6 会議にてエミッション規格案が暫定合意されてから現在に至るまでの経緯  
 ・2020/10

IEC61000-6-3(住宅環境)については、暫定合意案が最終合意され、CDを発行することが決議された。CDは、規格案、今回の QP 値(準尖頭値)許容値を導入するに至った背景と許容値の根拠(附則・参考)、積分許容値とその根拠(附則・参考)で構成される。

※ IEC61000-6-8(商業・軽工業環境)においては合意に至らず継続審議中。

### ・2021/01、02、03

許容値を記載した Table4における脚注 a(大量生産しない機器の許容値緩和に関する記述)の議論の他に、WG1 からのリエゾンである A.Griffin 氏を通して改正作業のすり合わせ、WG1 への規格案についての照会が行われた。その結果、JWG6 は CD を発行する前に、広く意見照会を SC77A、CISPR/H から行い、その結果を CD に反映することを決定し、規格案を CIS/H428/DC、77A/1100/DC として 4 月に発行した。

### ・2021/07

上記 DC へのコメントを審議し、その結果は、CIS/H/433/INF(77A/111/INF)として発行された。また、審議結果を反映した CD 草案を作成し、WG1 への照会結果を含めて 9 月に最終確認することとした。Table4における脚注 a は存続、脚注 b(SMP のスイッチング周波数近傍の緩和)は支持されずに削除。

### ・2021/09

草案への WG1、JWG6 からのコメントを審議し、CD(フラグメント化)を発行することが決議された。

### ◆エミッション許容値

#### <QP許容値(規定)>

	9k~50kHz	50k~150kHz
IEC61000-6-3 [dB μV]	120.5~110	104~80
※大量生産しない機器		110~82.5 ※

#### <積分許容値(参考)>

	9k~30kHz	30k~50kHz	50k~95kHz	~150kHz
大量生産する機器 [dB μV]	123	115	104	-
大量生産しない機器 [dB μV]	126		112	

各周波数域:  $f_{start}$ [Hz]~ $f_{stop}$ [Hz]における積分値の計算式

$$IVL_{f_{start}-f_{stop}}(dB(\mu V)) = 20 \log \frac{\sqrt{\frac{\Delta f_{step}}{200 \text{ Hz}} \sum_{f_{start}}^{f_{stop}} U_{AV, 200 \text{ Hz}}^2 (V)}}{1 \mu V}$$

$U_{AV, 200 \text{ Hz}}(\mu V)$  : RBW:200Hz での  $\Delta f_{step}$  毎の平均値  $\Delta f_{step}$  : 100Hz とする。

### ◆次回会議

・2021/12 CDの結果を審議する予定。 ※可能ならば F2F 会議だが WEB 形式も想定

以上